

県職員・岐阜県警察官 出前説明会

1月16日（月）高卒または大卒で県職員・岐阜県警察官に就職を希望する生徒を対象に県職員・警察官説明会が行われました。岐阜県職員の加代 暢尊さん、岐阜県警の大和 康朗さんに来ていただきました。現場で働いている方の話が聞けるということで生徒だけでなく保護者の方も参加されました。加代さん、大和さんに生徒からいろいろな質問が出て解答をいただき、自分たちが初めて気づくことが多くあり、説明会終了後には、「希望意識が強まった！充実した！」等の意見が溢れました。



いよいよ説明会が始まります。ドキドキ



みんな真剣です。



加代暢尊さん（写真右）には県職員について、大和康朗さん（写真左）には警察官についてお話を伺いました。



質疑応答の時間にはたくさんの質問が出ました。

<参加生徒の感想>

・警察官などの公務員に一番大切なのは、自分の意見を述べるのが大切ということが分かった。自分が進んだことにやりがいを持って最後までやり遂げていきたいです。

絶対に合格するように参考書を買って今日から勉強したいです。

・自分は専門学校と直接、警察に入るか迷っていますが、いろいろ質問したりして、どのような仕事であるかだったり、試験の内容が小論文・面接があるかを聞くことができたので、これをふまえて、今後の勉強や生活に生かしていきたいです。もっとコミュニケーション能力を身に付けたい。

・お二人のお話を聞いてどんな仕事でもやりがいや楽しいことがあるんだなと思いました。これから高校卒業後の自分の夢に向かって頑張りたいです。

・今日の話聞いて、自分の知らないことを沢山知れて良かったです。自分の持っているイメージと警察官・県職員の仕事は違うところもあったので、良い機会だったと思います。採用試験では、想像以上に倍率が高かったです。だから、今以上に学習に力を入れていきたいし、積極的に意見が述べられるようにしたいです。

・公務員と聞いて浮かぶのは学校の先生、役場の職員、警察、自衛隊ぐらいで、業務内容などは詳しく知らず、行政、事務以外に管理栄養士や薬剤師といったものがあると知り驚きました。また、警察学校に入り、体力・精神力を養うことが楽なものではないということもよく分かりました。

・今日の話聞いて、いろいろな試験で面接が一番配点が高いという事が分かりました。これからでも、話す場面がたくさんあるのでそういう時に少しずつ伸ばしていきたいし、日頃たくさん話がしたいと思いました。面接できれいすぎるとだめと聞いたので素直な気持ちで答えないといけないことが分かりました。合格するためには、いろんな努力を沢山しなければならないことが分かりました。

・今回のお話を聞いて、試験の配分が口実試験の得点が500点で全体の半分以上を占めているのを知って驚きました。だから、僕は少しでも多くの公務員の職について調べて、自分の言葉でしっかりと伝えられるようにしたいです。

・私は警察官になりたいですが、今回の話を聞いて日々の勤務だけではなくその前に多くの重要なことがあることを知りました。警察学校での厳しい訓練と多くのことはとても辛そうでした。警察官は職務に没頭して厳しいだけと思ってましたが、手厚い福利厚生やクラブの存在を知り、今までよりも警察官になりたいと思いました。

・今回の講義を聞いて普段の行動などが大切だとわかりました。自分のコミュニケーション力が低いと自覚しているので、コミュニケーション力をもっとつけたいと思いました。どの学部や学校がいいとい

うわけではないとわかったので、自分の行きたい学校に進んで勉強して沢山の知識を付けて将来は警察官になりたいと思いました。